

高梁市 議会 だより

第29号
2017年2月

- 新議長あいさつ、新体制が決まりました ②
- 12月定例会・主な議案 ④
- 11月臨時会・全員協議会開催 ⑥
- 委員会報告 ⑦
- 一般質問 ここが聞きたい ⑧

寿覚院

JYUGAKUIN

新しくなりました!

いぬごわん

市民の皆様には、平素から市議会に対し、深いご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

このたび、高梁市議会議員選挙後初の臨時市議会において、議員皆様の推挙を賜り新市7代目議長の要職に就任させていただきました。

身に余る光栄でありますし、その責務の重大さを痛感しております。もとより微力ではありますが、議会運営にあたっては議会基本条例を遵守することを基本とし、市民に信頼される議会を目指し、議員各位が市民の皆様の思いをしっかりと受け止め、その負託に応え議員活動ができるよう公平公正な議会運営に向け誠心誠意努めてまいることをお約束させていただきます。

また見事再選を果たされた近藤市長を頭とした執行部との立ち位置についても、

常に緊張感を保ちつつ是々非々の形で進めてまいりたいと考えております。

市民の皆様には、今後とも市議会へのご理解と、ご協力を心からお願ひ申し上げます。ご就任のごあいさついたします。

高梁市議会議長

森田 伸一

市議会の顔ぶれが

議長に森田仲一議員、副議長に川上修一議員を選出！



産業経済委員会

委員 森 和之 副委員長 三村 靖行	委員 石井 聡美 委員長 小林 重樹	委員 平松 賢司 委員 森田 仲一 (議長)
-----------------------------	-----------------------------	------------------------------------



総務文教委員会

委員 石部 誠 副委員長 黒川 康司	委員 内田 大治 委員長 川上 博司	委員 伊藤 泰樹 委員 倉野 嗣雄
-----------------------------	-----------------------------	----------------------------



市民生活委員会

委員 森上 昌生 副委員長 石田 芳生	委員 大月 健一 委員長 宮田 好夫	委員 宮田 公人 委員 川上 修一 (副議長)
------------------------------	-----------------------------	-------------------------------------

平成28年9月25日に投票が行われた高梁市議会議員選挙によって、合併後4回目となる新しい高梁市議会がスタートしました。

今回から議員定数は2名減の18名となっています。定数の減少に伴い、各委員会の定数も減っています。

また、これまで議会改革につ

いて話し合いを重ねてきた議会活性化特別委員会がなくなり、議会改革全般については議会運営委員会が、議会報告会など広報活動については議会広報公聴特別委員会が担当することになりました。

これからの4年間、よろしく
お願いいたします。

委員 伊藤 泰樹	委員 森 和之	委員 森上 昌生	委員 石井 聡美	委員 石部 誠	副委員長 石田 芳生	委員長 宮田 好夫	特別委員会	議会広報公聴 特別委員会	委員 宮田 好夫	委員 小林 重樹	委員 川上 修一	委員 川上 博司	副委員長 宮田 公人	委員長 倉野 嗣雄	議会運営委員会
-------------	------------	-------------	-------------	------------	---------------	--------------	-------	-----------------	-------------	-------------	-------------	-------------	---------------	--------------	---------



12月定例会が開催されました

平成28年第8回高梁市議会（定例）が、12月5日から21日まで開かれました。追加議案を含めた市長提出の議案のうち、1件については承認し、残り27件全てを原案のとおり可決しました。

議案質疑では、 図書館駐車場へ多くの 質問が寄せられる

市長の所信表明については、「立地適正化計画は、過疎化を加速するのではないか」という質問がありました。これに対しては、「立地適正化計画は、市街地のための計画であり、市全体は総合計画でカバーする」という答弁がありました。

議案質疑では、駅前に整備される図書館用駐車場の料金などを定める「高梁市図書館条例の一部を改正する条例」について、複数の議員が質問しました。

「滞在型の図書館に時間ごと
に上がっていく料金体系はなじ
まない。1日の上限を決めるべ
きではないか」という意見に対
しては、「そういった意見もあ
る。他の事例を参考にしながら
決めさせてもらった」という答
弁がありました。「障害者や高
齢者に向けた駐車スペースはど
うなっているのか」という質問
には「障害者用には一定の台数

を止められる区画を用意してい
る。高齢者用には特別なエリア
は設けていない」との答弁でし
た。

高梁市職員の給与改定につい
ては「国家公務員との差を見る
1つの目安となるラスパイレス
指数は98%台で、市職員の方が
やや少ない」との答弁がありま
した。

駐車場に関する 議案や公用車購入 予算に賛否

議案や公用車購入 予算に賛否

討論では、賛否それぞれ2名
ずつの議員が意見を述べました。

反対討論では、高梁市図書館
駐車場について、「図書館無料
の原則に反し、周辺事業者との
不公平感にもつながる」という
反対意見や「現状の4倍以上の
運営費がかかる以上、方向や計
画、展望をきちんと示すべき」
という反対討論がありました。
他にも、農業委員選出の制度改
正について「公選制から市長に
よる任命制に変わるにより、

市長の権限が強まる」ので反対
という意見や、「平成28年度高
梁市一般会計補正予算（第2
号）」について、「マイナンバー
制度に関連する予算を含むため
反対する」という意見や、三菱
自動車を支援するために、前倒
して公用車を購入する予算につ
いては「助ける相手を間違えて
いる」と反対の意見がありまし
た。

賛成の討論では、図書館駐車
場について「基本的に図書館利
用者の利便性を向上させるもの
であるといえるが、安全性には
十分な配慮を求めたい」という
意見や、公用車購入について
「岡山県をあげての支援に本市
も賛同すべき」との意見があり
ました。また、「平成28年度高
梁市特別養護老人ホーム特別会
計補正予算（第1号）」について
「介護を取り巻く環境の厳しさ
は理解するが、特別養護老人
ホームを行政が運営すべきかと
いう点に関して疑問もわく」と
申し添える声がありました。

※ ラスパイレス指数…全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、学歴や経歴
年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100とし
て計算した指数

11/9

臨時議会を開催しました

駅前複合施設の内装費などを含む工事請負契約の変更などを審議

11月9日に、第7回高梁市議会（臨時）を開催しました。臨時議会には、市長から提案された議案のうち、3件を原案のとおり可決、追加提出の議案4件について同意しました。さらに議員発議の議案1件を原案のとおり可決しました。

図書館を核とする複合施設建設に關する工事請負契約の増額変更が提案された議案では、議案質疑でいくつかの質疑が交わされました。この議案は、建物本体の基礎工事の工法変更及びテナント内装の仕様確定に伴う設計変更に関するものでした。

今回の工事について、「変更部分は当初から見込めなかったのか。基礎工事の契約変更がなぜ今になって出てきているのか」という質問がありました。これに対して、執行部側からは、「工事は過去の構造物が出

てきたからだ。2カ所で地質調査をしていたが、そのときには出てこなかった」という答弁がありました。また、「工法変更については6月の全員協議会ですでに説明しており、2割以内の工事金額変更については、工事後の承認であっても手続的に不備にはならない」との答弁もありました。その後、議案は総務文教委員会の審査を経て、本会議でも原案のとおり可決されました。

11/24

全員協議会を開催しました

成羽複合施設（仮称）の概要について質疑を行いました

11月24日に、「成羽複合施設（仮称）」の基本的な考え方について質疑を交わす、全員協議会を開催しました。

「成羽複合施設（仮称）」は、高梁市成羽町出身の伊藤謙介氏よりの篤志を受け、「文化ホール」を有した複合施設を整備するという計画です。

事業の構想は、現成羽総合福祉センターを候補地として、複数の公共施設の機能を集約する2000平方メートル程度の延床面積の施設を建設するというもの。集約される主な施設は、成羽地域局（昭和33年建設）、成羽文化センター（昭和41年建設）、成羽総合福祉センター（昭和59年建設）などです。

平成28年度に基本設計、平成29年度に実施設計、平成30年度に建設工事の予定で、オープンは平成31年度になる予定です。

ホールに関する質問に対しては、席数は250席程度を想定しており、ご寄付はホールの建設費に充当され、ホール以外の部分は合併特例債を財源とするとの答弁がありました。

建物の維持経費については、250席程度のホールの実績を試算したところ、約2割の節減が可能であり、今後電気設備の省エネ化などでさらに圧縮できるとの答弁がありました。「ワークショップを開いて市民合意を形成すべきではないか」という質問に対しては、「基本構想の骨格ができた時にワークショップ等を開いていきたい」との答弁がありました。

総務文教委員会

◎「平成28年度高梁市一般会計補正予算(第2号)」

三菱自動車を支援するために前倒しで6台の車両を購入することであるが、市内業者への配慮、発注方法を考慮すべきとの意見がありました。地元業者の見積もりを取っており、入札も1台ずつ地元業者に参加していただいて行うとの答弁がありました。また、会社の不祥事による操業停止で影響を受けた下請け業者や労働者は支援すべきであるが、会社への支援については疑問視するとの意見がありました。間接的ではあるが関係者に安心感を与えることができるとの答弁がありました。

地方創生推進補助金の内容については、市と吉備国際大学が共同でアニメスタジオ開設に取り組むことになっており、補助金は大学に対するものとなるとの答弁がありました。また、アニメによるまちづくりの内容については、新たなアニメスタジオにより業を起こし、雇用を創出することを目標としていると答弁があ

りました。

成羽地域の複合施設整備について、基本設計着手前に市民の意見を取り入れてもらいたいとの要望がありました。また、美術館や陣屋跡等に関しては、地域の意見や景観に配慮して事業を進めていくとの答弁がありました。跡地活用に関しては、関係部署と協議して進めるとの答弁がありました。地質調査については、以前別の案件で補正予算を組んだ経緯から質問がありました。これに対して、現在建築物があり安定した地盤という認識ではあるが、専門職員の意見を聞きながら進めるとの答弁がありました。

討論では、不祥事を起こした企業に対する支援策やマイナンバーに関する予算を含むことから反対する討論もありましたが、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。

◎「高梁市立図書館条例の一部を改正する条例」

備中高梁駅東口は朝夕の送迎で混雑するのでこの点に配慮した運用はできないのかとの質問がありました。駅利用者との調整は将来的に考えていくとの答弁がありました。また、教育は無償であるべきで駐車料金は徴収すべきではないし、駅周辺で駐車場ごとに料金体系が異なるので統一すべきではないかとの質問がありました。これに対しては、県内の同様の施設を参考にしており、図書館自体の利用は無償である。また、各々の駐車場は設置目的が異なり料金体系も異なるとの答弁がありました。

討論では、教育無償の原則に反することや、異なる料金体系の駐車場があるため市民が混乱することを理由に反対する討論、将来的に駅周辺の交通の煩雑さを考慮すべきとの要望を添えて賛成する討論がありましたが、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。

12月定例会で賛否が分かれた議案の議決結果

○賛成 ●反対 一欠席

件名	森	平松	伊藤	森上	石部	三村	石井	黒川	石田	内田	宮田好	小林	倉野	川上修	川上博	宮田公	大月
高梁市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市立図書館条例の一部を改正する条例	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度高梁市一般会計補正予算(第2号)	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度高梁市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。◎他の議案は全会一致で可決しました。

産業経済委員会

◎「高梁市観光駐車場等に関する条例の一部を改正する条例」

現在の観光案内所スタッフや業務の引き継ぎについて質問がありました。スタッフがCCCに移行し、レンタサイクル、観光タクシー業務は新たな観光案内所に引き継がれるとの答弁があり、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

◎「高梁市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例」

農地利用最適化推進委員の任務、若者や女性の登用への配慮について質問があり、農地利用の最適化の活動や農地中間管理機構との連携に努めていき、若者や女性については推薦や応募により選任していくとの答弁がありました。耕作放棄地対策や農地集約の取り組みに対してどのような運用をしていくのかとの質問には、推進委員は農業委員会とともに定める指針に従って活動することになるとの答弁がありました。

市民生活委員会

◎「平成28年度高梁市一般会計補正予算（第2号）」

地域振興費の住宅補助について質問がありました。本年度は昨年度を上回るペースで住宅建築が進んでおり、補正予算を組んだとの答弁がありました。

超過勤務手当について増額があるが、健康管理を含めてどうなっているかとの質問がありました。全庁的に超過勤務の是正に取り組んでいくとの答弁がありました。

医療構想基礎調査業務委託について質問があり、基礎調査としてアンケート調査を行うための検討会議や調査設計の支援を行うが、医療機関に限定しないとの答弁がありました。全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

◎「平成28年度高梁市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）」

※共同事業拠出金が増額になっており高額医療費がかさんでいるのではないかとの質問があり、拠出金額が

確定したことから当初予算との差額を計上しているとの答弁がありました。また、このことに関連して個別

検診について質問がありました。個別検診が増加傾向であるので来年度予算に反映したいとの答弁がありました。全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

◎「平成28年度高梁市特別養護老人ホーム特別会計補正予算（第1号）」

構造的に収支が悪化しているのではないかとの質問があり、今回は減額補正であるが、介護報酬の改定の影響もあり、一般会計からの繰り入れは増えてきているとの答弁がありました。全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

※共同事業拠出金

高額な医療費の発生による保険者負担増額の影響を緩和するために、国保連へそれぞれの自治体から拠出金を出している。

- Q.** 中学校入学時に本を贈呈するサードブック事業を実施すべきではないか
- A.** 早期に実施できるように検討する



ここを聞きました

川上博司

- 「子育てするなら高梁市」をさらに推進するために
- 食品ロスの削減について
- 地域医療連携について

※ 「赤ちゃんの駅」登録事業について

川上 子育て支援充実のために、公共施設や民間施設の登録を推進していくべきではないか。

市長 市庁舎はそのスペースを備えている。まもなくオープンする複合施設も含め、公共施設から登録していきたい。

「サードブック事業について

川上 子ども読書活動推進のため、中学校入学時に本を贈呈するサードブック事業を実施すべきではないか。

市長 読書は人づくりのために重要で、新図書館にコーナーを設けて本を選んでもらうのも一つの方法だと思う。早期に実施できるように検討する。



長野県松本市30・10運動PRコナー

※赤ちゃんの駅とは、誰でも自由におむつ替えや授乳が行えるスペースの愛称

「食品ロスの削減について

川上 飲食店で残さず食べる運動「30・10運動」など食品ロス削減に向けての取り組みを進めるべきではないか。

市民生活部長 市職員が率先して取り組み、市民や事業者に向けて啓発していきたい。

- Q.** 有害鳥獣対策室を作ったらどうか
- A.** 専門の部署を設け重点的に取り組む



ここを聞きました

小林重樹

- 三期目に入った近藤市長の施政方針と高梁市の将来について問う
- 平成29年度の予算概要について問う

三期目に入った近藤市長の施政方針と、高梁市の将来について

小林 市長は所信表明で「高梁市まち・ひと・しごと総合戦略」に掲げる①人づくり②地域医療連携③地域連携・生涯活躍のまち④観光交流・移住促進⑤雇用環境の創出の5つの基本目標に、新たに「環境対策」を加えた6つの政策を中心に進めていくと述べた。

この中で特に問題なのが環境対策であり特に有害鳥獣対策が必要である。

そこで耕作放棄地対策、里山整備促進のためにも有害鳥獣対策室を作ったかどうか。

市長 有害鳥獣対策は、深刻な問題であると認識している。

市民の皆さんからも提言をいた



高梁市まち・ひと・しごと総合戦略

だいており、有害鳥獣対策に特化した専門部署を設置し重点的に取り組んでいく。

地方創生、総合戦略について

三村 総合戦略の基本項目である「市内で働き続けることのできる雇用環境を創出する」のリーディングプロジェクトである薬草栽培産地化促進の進捗状況はどうか。

産業経済部長 耕作放棄地を解消する新たな作物として、今年度有漢地域でカンゾウ1ヘクタール、中井地域で薬用シヤクヤク0・08ヘクタールを定植している。

三村 中井地域では4年前から薬草栽培の計画があった。メーカーとの契約に至らなかったことを市はどのように認識しているのか。

産業経済部長 当時の担当課と中井地域で産地化へ向けた考え方に認識の差異があった。

三村 今後薬草栽培の産地化をどのように進めるのか。

産業経済部長 市西部地区へも拡

Q. 薬草栽培の進捗状況と今後の取り組みは

A. 現在有漢地域、中井地域で進めている。今後全市的な取り組みとする



ここを聞きました

三村靖行

- 地方創生、総合戦略について
- 有害鳥獣対策について

大して全市的な取り組みとしたい。

有害鳥獣対策について

三村 狩猟期間内に捕獲したイノシシに、なぜ補助金が出ないのか。

市長 狩猟期間はハンターの趣味であるとの観点から補助金を交付していない。猟友会の皆さんと相談し、新年度の体制で総合的に見直しをしたい。

三村 威嚇する花火への補助はできないか。

市長 検討していきたい。

三村 防護柵の設置許可までの手続きに時間がかかり過ぎて被害対策に間に合わない。電話連絡による申請で許可すべきではないか。

市長 緊急の場合にも迅速に対応できるように検討する。

Q. 1億6000万円もの契約がなぜ随意契約になったのか

A. 市の要求以上のものがCCCから提示された



ここを聞きました

森上昌生

- 近藤市長の政治姿勢を問う
- 駅前複合施設、成羽複合施設及びその関連施設について
- 市街地における野良猫に対する取り組みについて

近藤市長の政治姿勢を問う

森上 成羽病院建て替え、自身の給与の引き下げ、児童生徒の医療費無料化など評価すべき点もあるが、旧「ゆ・ら・ら」問題に関しては幾つもの失政があったと思われる。過去8年間の自身の市政に対する評価と総括はどのようなものか。

市長 マニフェストは新市建設計画の流れをくむものと理解し、おおよそ達成できたものと理解している。旧「ゆ・ら・ら」は平成11年に建設されたものを私が引き継いだもので、何とかしていかなければならない責務はあると考える。

駅前複合施設に関して

森上 CCCへの指定管理では、他市で不適切な図書の購入があったが、高梁では無いと言えるのか。

教育次長 無いと期待している。

森上 Tポイントカードの個人データはCCCが管理することで問題はないのか。

教育次長 個人情報に関しては館外に出ないように管理する。

森上 1億6000万円もの契約がなぜ随意契約になったのか。

教育次長 年中無休で9時から21時までの開館など、市の要求以上のものがCCCから提示された。

市街地における野良猫対策について

森上 野良猫に対する取り組みはどうなっているか。

市民生活部長 市民と行政が協力して解決すべき問題である。

Q. 学校適正化の審議会の進捗を問う

A. 「高梁市立学校再編審議会（仮称）」として設立する



石井聡美

ここを聞きました

- 学校教育について
- 公共交通について
- 保育所について
- 防災について
- 公共料金、税金のクレジットカード決済について

感情論ではなくデータで客観的な結論を

石井 学校適正化の審議会について改めて進捗を問う。

教育長 現在、「高梁市立学校再編審議会（仮称）」ということで設置要綱を検討している。メンバーは議員、地域の代表、保護者の皆様に学識経験者も加えて慎重に審議したい。

石井 規模的なものと期間、最終的に何を決めるのか。

教育長 規模については15人程度になると考えている。審議をして、骨子がまとまった時点で恐らく中学校区単位で回って、ご意見をいただく。そしてまとめをやり直してから、答申という形になる。期間については、昭和59年の審議会では18回の審議会が開催されているので、今回も1年、あるいはも

う少し延びる可能性がある。最終的な答申の内容については、学校の再編を含めた教育環境の整備とその計画、必要な事項についても併せて検討する。

石井 現在の出生数から、将来の生徒数がある程度予想できる。将来予測を提示する予定はあるか。

教育長 児童生徒数は重要なデータであり、客観的に数字が出てくるものでもある。この審議会においては、より多くの意見を吸収するためにもそういった資料は原則公開する。

石井 感情論に左右されない、冷静な話し合いで誰もが納得いく結論を出してほしい。

教育長 今の子どもたちをどういった教育環境で育てればいいのかというところに焦点を当てて考えていきたい。

Q. 防災行政無線の存続を求める

A. 防災ラジオを整備していく



平松賢司

ここを聞きました

- 防災行政無線について
- 鳥獣被害対策について

防災行政無線について

平松 この施設は、防災情報を知る重要な手段となっている。市は廃止させる方向であるが、市民からは存続してほしいと切実な声がある。残すことはできないか。

総務部長 市の情報伝達手段はケーブルテレビを基幹として、あらゆる情報ツールがある。防災行政無線の存続は予算的に困難である。

平松 国は防災行政無線の役割は大きく重要だと述べているが、市はどう考えているのか。

総務部長 国の通達で、防災ラジオは防災行政無線と同等としている。本市は防災ラジオを整備していく。

平松 廃止することなく、全世帯に防災行政無線を設置できないか。

総務部長 多額の費用がかかり困難である。

平松 屋外拡声器も廃止するのか。
総務部長 今後順次廃止していく。

鳥獣被害対策について

平松 本市の農業振興上大きな問題であり、年々深刻度が増している鳥獣被害対策を今後どう充実させるのか。

産業経済部長 狩猟者を増やして継続的に駆除していく。

平松 野猿の天然記念物の指定解除の声もあるができないか。

教育次長 天然記念物の解除はできない。

平松 では、どのような対策をするのか。

産業経済部長 専門部署を設けて捕獲、保護に力を入れていきたい。

石田 様々な制度ができるが、サービスが行き届くようにするための体制作りはどうか。

石田 様々な制度ができるが、サービスが行き届くようにするための体制作りはどうか。

町内会の支援、高齢者の支援について

石田 町内会の様々なニーズに対してどのように応えていくのか。

市長 町内会支援制度の創設に当たり、困り事や悩み事を集約してきた。しかし、これで完成というわけではなく今後も町内会からの相談を伺っていく仕組みが必要と考えている。

政策監 これまでの画一的サービスから、心身や生活状態に合わせた取り組みになる。個々の対応はケアマネージャーと相談して決めていく。

石田 様々な制度ができるが、サービスが行き届くようにするための体制作りはどうか。

成羽地域の公共施設整備について

石田 地域局とその他数カ所の公共施設を一カ所に集約する計画であるがどのように進めていくのか。

市民生活部長 意見の吸い上げをする。当面は地域局が窓口になる。

石田 厳しい財政状況の中で大丈夫か。

総務部長 公共施設を集約する以上経費削減効果は出していかなければならない。現在想定している4施設だと年間300万円程度の削減効果が見込まれる。

Q. 病後児保育事業の進捗状況は

A. 子育て支援のセーフティネットとして取り組んでいる。年度内開所を目指している



ここを聞きました

- 町内会支援制度と新しい介護予防について
- 日常生活支援総合事業について
- 今後の公共施設整備について
- 子育て支援について

Q. 投票率65.98%をどう捉えるのか

A. 議会とともに取り組むべき課題と考える



ここを聞きました

- 市長の行政運営について
- 教育行政について
- 成羽複合施設（仮称）について
- 高梁市の財政見通しについて

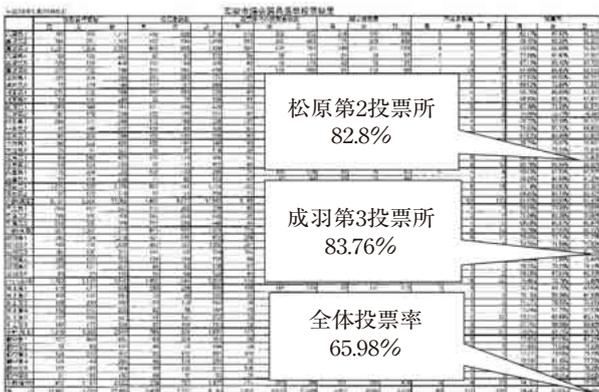
宮田 今回の選挙の投票率は65.98%と大変低い結果であった。投票率が80%を超える投票所が83.76%の成羽第3投票所、次いで82.8%の松原第2投票所のみとなっている。

議会としても、議会基本条例を制定し、市民と交流し広報活動を重ねてきたが、このような結果であった。投票率は議会と執行部に対する採点表と考えるが、この数字をどのように捉えるのか。

市長 旧高梁市も含めかなり低い数値と考える。政治に関心を持っていただけるよう情報発信しスピード感をもって対応しなくてはならない。また、投票に行きたくても行けないという方もいる。こうした中山間地域特有の課題についても改善していかなければなら

ない。議会とともに取り組むべき課題と考える。

宮田 お互いが今回の投票率を謙虚に捉えながら、4年間この65.98%という数字を念頭に動いていかななくてはならないと考えている。



Q. なぜ防災行政無線を廃止し、防災ラジオを整備するのか

A. 防災行政無線の送信部分はアナログなので使えなくなる。デジタル方式の防災ラジオを整備していく



倉野 嗣雄

ここを聞きました

- 産業振興について
- 環境とエネルギーについて
- 行財政改革について
- 安全・安心のまちづくりについて

産業振興について

倉野 本市では竹による産業を推進し起業家を育てるとして調査を行った。その後は報告も無いが、現在どのように進んでいるのか。今後の見通しと考えを問う。
産業経済部長 現在はブドウの下の防草用として碎いて実験している。民間の事業者による開発も少しずつ進んでいる、今後も推進していく考えである。

環境とエネルギーについて

倉野 本市では、次世代エネルギーは太陽光発電で進める方針が以前に示された。現在補助金がなくなっているが、方針転換されたのか。
市長 方針は変わらないが、太陽光発電の補助としては行っていな

い。しかし、住宅リフォーム補助金の中に入っている。今後もPR活動を行っていききたい。

安全・安心のまちづくりについて

倉野 有漢・川上・備中の旧3町では、現在まで防災行政無線が整備されていた。デジタル化されていると聞いていたが、平成34年秋から今の無線は使用できない代わりに、本市では防災ラジオで対応を考えていくこととなっている。何が違うのか、無くなる地域に十分な説明がいらぬのでは。

総務部長

言われるように、元の入力部分はデジタル化しているが、送信部分はアナログであり使えない。市では防災ラジオを有償で配布していく考えである。行政情報は吉備ケーブルテレビか、広報たかはしを見てほしい。

Q. 市民の市街地誘導は過疎を助長しないか

A. 各地域の地域拠点に必要な機能を集積する



石部 誠

ここを聞きました

- 立地適正化計画について
- 市長給与について
- 確定申告における介護保険要介護認定者の障害者控除について
- 高梁市図書館について

立地適正化計画について

石部 立地適正化計画により、高梁市の周辺に住んでいる個人や事業所にお金を出し市街地に誘導するのは過疎を助長しないか。
産業経済部長 高梁市の今後の人口減を考え、市民生活に必要なサービスやコミュニティの維持のため、高梁、落合、成羽地域に医療、福祉、商業などの施設や居住の立地を緩やかに促す。

石部 人や機能を周辺から市街地へ誘導し学校や商店も無くなるが、そこに住み続けられる方を支えるのが行政の仕事ではないのか。

産業経済部長

都市計画マスタープランを軸に旧町の中心部を地域拠点と位置づけ各地域の地域拠点に必要な機能を集積する。

高梁市図書館について

石部 開館準備も含め市民参加が市民の一体感になる。利用者の図書館運営への参加と市民ボランティアの活動支援は現在行われていないが、今後の活動援助は。
教育長 指定管理者はまちづくり非常に積極的。重要と考えアプローチはすると理解している。現在のボランティアは引き続きお願いする。新たな業務は開館後に受け入れ体制ができたら行う。

石部 複合施設全体のビル管理は岡山の業者へ出されるが、地元業者を使うべきではないか。
教育次長 ビル管理は指定管理者が委託するが、個別の清掃作業等は地元業者を優先するよう要請している。

宮田 新年度から始まる町内会への支援制度の目的は何か。

市長 お互いの結びつきが復活し、住む人が安心してこれからも暮らしていける地域づくりを行うことである。

宮田 具体的な内容はどのようなものか。

市長 地域の見回り活動、LED防犯灯や防犯カメラの設置、自主防災組織の活動、複数の町内会が協力した草刈りや環境を守る取り組みなどの支援を考えている。

宮田 町内会の高齢化や小規模化により自助や互助で解決できない場合は公助も必要ではないか。

市長 なかなか取り組めないところについては、行政でバックアップする。

宮田 受付、相談の窓口について

Q. 新年度から始まる町内会への支援制度の目的は何か

A. 安心してこれからも暮らしていける地域づくりである



宮田好夫

ここを聞きました

- 来年度から施行予定の町内会への支援制度について
- 中学校の配置について
- 新図書館について



河川清掃活動とポイ捨て禁止の看板設置

はどうなるのか。
市長 窓口は市民課に一本化し、そこから各課に連絡し対応することを考えている。

高梁市議会議員研修会

平成28年11月21日に、講師に元全国都道府県議会議長会議事調査部長で全国都道府県議会議長会議制度研究アドバイザーの野村稔氏を招いて「議員活動の基本」地方議会の制度と運営について」をテーマに高梁市議会議員研修会を行いました。

研修では、「戦前と戦後の議会の違いは、戦前は執行機関が優位であったが、戦後は執行機関と議会の二元代表制になった。そして議会に執行機関に対する監視権と議案提案権が与えられた。」

「議員は、定例会で質問する権限を持っていて、質問内容は、市の事務であれば何でも聞くことができるが、住民が聞いて分かるような方式で行うことが必要だ。」

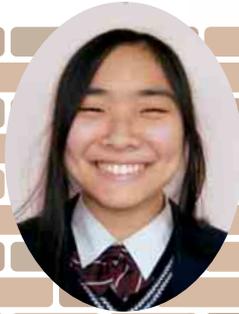
「委員会審査では、委員が日常生活で気が付いたことを積極

的に述べ、参考人や公述人の意見を聞いたり、委員を派遣し現場を見るなど、執行部とは異なる情報を入手することも必要だ。視察・研修は、目的を明確にし、事前の勉強をし、報告書を議長に提出しなければならぬ。」

など実践的な内容を話され、有意義な研修会となりました。



平成28年11月21日議場で研修会が行われました



高梁城南高等学校 コラボレートX第12弾 高梁市議会

○議会を傍聴しませんか○
本会議および委員会は公開を原則としており、傍聴ができます。実際に傍聴されれば、紙面では伝えることのできない会議や議員の活動がよく分かると思います。

今回の表紙を飾っていただいたのは、高梁城南高等学校デザイン科2年生の川上 碧（かわかみ みどり）さんの作品です。歴代藩主の尊崇あつく水谷、安藤、石川、板倉と歴代家臣の墓が多くある寿覚院（じゅがくいん）の参道を描いてくださいました。

作品のポイントは、左上に描かれた山門へと続く石段と、右側に白壁の土塀と石垣が緻密に描かれています。特に石段に生えている草々を丁寧に描いたとのことでした。

今後の目標を尋ねると「一層勉強してデザインを究めていきたい」と笑顔で答えてくれました。そして私たちの作品を多くの人に見てもらいたいと語ってくださいました。

気になるスポット

The spot of Takahashi

中国銀行発祥の地 (高梁市下町 観光駐車場内)

中国銀行の前身は、岡山県、広島県、香川県の多くの中小の銀行です。そのなかで最も古いものは、明治11年に板倉勝静・勝弼、川田剛、三島毅らが高梁市に設立した第八十六国立銀行です。この銀行は紙幣発行権を持っていて、一元と五円の紙幣を発行しました。



国策により明治30年に普通銀行の

株式会社八十六銀行となりましたが、大正中期の不況により、大正9年に第一合同銀行と合併しました。第一合同銀行は、昭和5年に山陽銀行と合併し、中国銀行と改称して現在に至っています。

※明治30年に開業した株式会社高梁銀行も大正12年に第一合同銀行と合併しています。

編集後記

昨年9月の改選により、議会広報公聴特別委員会も新メンバーになりました。委員会では来年度に向け議会だよりの構成や内容を議論しています。“わかりやすく、読みやすい”内容になるよう頑張っていきます。議会だよりについて取り上げてほしい内容や改善してほしい点など、ご意見を募集しておりますので、よろしく願いいたします。

(宮田好夫)

【編集】

議会広報公聴特別委員会

委員長 宮田好夫
副委員長 石田芳夫
委員 石井聡誠
委員 石部生美
委員 森上生
委員 伊藤泰樹

☆ご意見はこちらまで

高梁市議会事務局

高梁市松原通2043

☎0866-21-0276